

参考資料

## 平成25年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
教 育 局

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	平成25年度	平成24年度	伸び率
予算総額	467,924,318千円	484,893,154千円	△3.5%
一般会計構成比	27.9%	28.9%	—

### 【埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計】

予算総額	711,720千円	804,983千円	△11.6%
------	-----------	-----------	--------

## II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

### 1 確かな学力と自立する力の育成

#### (1) 「教育に関する3つの達成目標」の推進

P 1	教育に関する3つの達成目標総合推進事業	【義務教育指導課】	7,957
-----	---------------------	-----------	-------

#### (2) 確かな学力の育成

P 2	新規 地域に応じた学力向上推進事業【義務教育指導課】		20,577
P 3	小中一貫教育推進事業【義務教育指導課】		9,076
P 4	学習状況調査実施事業【義務教育指導課】		35,687
P 5	新規 若手教員の授業力を高める「学びの道場」事業【義務教育指導課】		5,121
	埼玉県中学生思考力チャレンジ事業【義務教育指導課】		2,112
P 6	新規 生徒の心に火をつけろ！高校生キャリアアップ&学力アップ推進プロジェクト【高校教育指導課】		7,290
P 7	新規 未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト	【高校教育指導課】	2,980
	未来を拓く「学び」推進事業【高校教育指導課】		3,445
	進学カテゴリーアップ推進事業【高校教育指導課】		4,665
	ラーニング・サポート推進事業【高校教育指導課】		24,361

#### (3) 伝統と文化を尊重し国際性をはぐくむ教育の推進

	埼玉県中学生思考力チャレンジ事業【義務教育指導課】		2,112 (再掲)
P 8	世界を目指す「志」育成事業【高校教育指導課】		36,002
P 9	新規 多言語コミュニケーション能力強化事業【高校教育指導課】		23,257
	語学指導等を行う外国青年招致事業【高校教育指導課】		373,955

#### (4) 時代の進展に対応する教育の推進

	新規 再生可能エネルギー普及のための高校生地域貢献事業	【高校教育指導課】	8,939
	ICT活用教育総合推進事業【高校教育指導課】		47,855

### (5) キャリア教育・職業教育の推進

		キャリア教育総合推進事業【義務教育指導課】	3,690
P10	新規	女子高校生の働き続ける意欲育成推進事業【高校教育指導課】	1,500
P6	新規	生徒の心に火をつける！高校生キャリアアップ&学力アップ 推進プロジェクト【高校教育指導課】	7,290 (再掲)
		実践的職業教育推進プロジェクト【高校教育指導課】	15,940
		就職指導・キャリア教育支援事業【高校教育指導課】	2,860
		県立高校教育活動総合支援事業【高校教育指導課】	38,560

### (6) 幼児教育の推進

		幼少期教育充実事業【家庭地域連携課】	1,714
		市町村立小中学校非常勤講師等配置事業 (小1問題への対応) 【小中学校人事課】	174,086

### (7) 特別支援教育の推進

P11	新規	特別支援教育体制推進事業【特別支援教育課】	19,564
P12		特別支援学校就労支援総合推進事業【特別支援教育課】	4,440

## 2 豊かな心と健やかな体の育成

### (1) 「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進

		高校生体験活動総合推進事業【高校教育指導課】	8,062
--	--	------------------------	-------

### (2) 豊かな心をはぐくむ教育の推進

		自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業 【生徒指導課】	21,027
--	--	----------------------------------	--------

### (3) いじめ・不登校・高校中途退学の防止

P13		いじめ・不登校対策相談事業【生徒指導課】	724,051
P14		いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】	15,938
P15	新規	インターネットの危険性から子供を守る総合推進事業 【生徒指導課】	9,980
		自分発見！高校生感動体験プログラム事業【生徒指導課】	7,760
		定時制高校生自立支援プログラム事業【生徒指導課】	8,029
P3		小中一貫教育推進事業【義務教育指導課】	9,076 (再掲)

### (4) 生徒指導の充実

P14		いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】	15,938 (再掲)
-----	--	-------------------------	-------------

### (5) 人権を尊重した教育の推進

		人権感覚育成事業【人権教育課】	1,109
--	--	-----------------	-------

### (6) 体力の向上と学校体育活動の推進

		運動部活動充実事業【保健体育課】	23,783
新規		「健やかな体の育成」・埼玉の子供 朝から1日もりもり・わくわく推進事業【保健体育課】	7,578

## 3 質の高い学校教育の推進

### (1) 教職員の資質向上

P5	新規	若手教員の授業力を高める「学びの道場」事業【義務教育指導課】	5,121 (再掲)
P16	新規	公立学校教職員人材確保事業【教職員採用課】	10,694
		埼玉ティーチャーズカレッジ連携事業【小中学校人事課】	12,833

**(2) 県立高校の再編整備と学校の組織運営の改善**

P 1 7	県立高校再編整備計画推進事業【県立学校人事課】	9 2 0, 5 0 8
	学校経営改革推進事業【県立学校人事課】	2, 2 1 9

**(3) 子どもたちの安心・安全の確保**

P 1 8	新規 実践的防災教育総合支援事業【保健体育課】	3, 9 6 3
	高校生交通事故防止推進事業【保健体育課】	1, 4 4 4
	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業【保健体育課】	1, 7 2 6

**(4) 学習環境の整備・充実**

	県立学校非構造部材耐震対策事業【財務課】	1 0 9, 7 0 5
	県立学校食堂兼合宿所耐震化事業【財務課】	7 7, 0 1 7
	県立学校大規模改修費【財務課】	2, 9 4 5, 9 9 1
	県立学校体育館整備費【財務課】	7 7 4, 8 3 6
P 1 9	埼玉県高等学校等奨学金事業【財務課】	7 1 1, 7 2 0

**4 家庭・地域の教育力の向上**

**(1) 「学校応援団」の推進**

P 2 0	学校応援団推進事業【家庭地域連携課】	1 7, 1 6 9
-------	--------------------	------------

**(2) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進**

P 2 1	放課後子ども教室推進事業【家庭地域連携課】	1 2 9, 0 8 0
-------	-----------------------	--------------

**(3) 家庭教育支援体制の充実**

P 2 2	家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】	3, 0 5 0
-------	---------------------	----------

**5 生涯学習とスポーツの振興**

**(1) 生涯を通じた多様な学習活動の振興**

P 2 3	元気な地域を創造する子ども大学推進事業 【生涯学習文化財課】	5, 5 1 0
-------	-----------------------------------	----------

**(2) 文化芸術の創造と伝統文化の継承**

民俗芸能公開事業【生涯学習文化財課】	2, 2 8 1
--------------------	----------

**(3) 地域スポーツの振興**

P 2 4	埼玉サイクリングフェスティバル事業【スポーツ振興課】	2 4, 8 9 7
	埼玉県スポーツ振興のまちづくり推進事業費 【スポーツ振興課】	3 8, 5 1 9
	スポーツで埼玉を元気に！事業【スポーツ振興課】	3 4, 7 8 0

**Ⅲ 教職員の定数**

P 2 5

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	増 減
条例定数	4 7, 0 9 5 人	4 7, 0 8 6 人	9 人

# 教育に関する3つの達成目標総合推進事業

担当 義務教育指導課 3つの達成目標担当  
内線 6748

## 1 趣 旨

全ての公立小・中学校において実施されている「教育に関する3つの達成目標」の取組を一層推進するため、学校の取組への支援や効果の検証を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
教育に関する3つの達成目標総合推進事業	(1) 学校の取組への支援 効果的な推進方法を検討し、学校の取組を支援する。  ア 地区別3つの達成目標推進連絡協議会の開催  イ 効果の検証結果分析報告書の作成・配布 「教育に関する3つの達成目標」に係る効果の検証結果を分析し、その結果を報告書にまとめ配布する。  ウ 新1年生用リーフレットの作成・配布 小学校第1学年、中学校第1学年対象  (2) 効果の検証 達成目標の取組に係る効果を検証する。  ア 調査項目 「学力」達成目標：ペーパーテスト調査、質問紙調査 「規律ある態度」達成目標：質問紙調査 「体力」達成目標：新体力テスト、質問紙調査  イ 対象 小学校第1学年から中学校第3学年までの全ての児童生徒

3 平成25年度予算額 7,957千円

## 地域に応じた学力向上推進事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当  
内線 6752

### 1 趣 旨

学力向上に課題を抱える市町村からモデル校を指定し、県と市町村が連携して地域の実情に応じた学力向上の手法を研究する。

また、効果的な取組を全県に普及させることにより、県全体の学力向上を推進する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
地域に応じた学力向上推進事業	<p>(1) 地域に応じた学力向上推進モデル事業の実施</p> <p>学力向上に課題を抱える市町村からモデル校を指定し、学力向上へ向けた取組の研究を委託する。</p> <p>県が学校訪問を通して積極的に提案を行うなど、県と市町村が連携して、地域の実情に応じた、より効果的な取組を研究していく。</p> <p>ア モデル校 小学校5校、中学校5校</p> <p>イ 取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自教材の開発</li> <li>・宿題の採点や補習指導などを行う学習支援アドバイザーの配置 等</li> </ul> <p>ウ 事業計画</p> <p>平成25・26年度 モデル校における研究 平成27年度 モデル校の取組の分析・検証、効果的な取組の普及</p> <p>(2) 地域に応じた学力向上推進委員会の開催</p> <p>モデル校における取組を支援するため、モデル校の教職員、関係市町村教育委員会及び県教育局職員で協議を行う推進委員会を開催する。</p>

3 平成25年度予算額 20,577千円

# 小中一貫教育推進事業

担当 義務教育指導課 小中一貫教育推進担当  
内線 6779

## 1 趣 旨

中学生になると不登校やいじめが増加するいわゆる「中1ギャップ」や学習意欲の低下への課題に対応するために、小・中学校9年間の連続性を重視した教育を推進する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
小中一貫教育推進事業	<p>(1) 小中一貫教育推進モデル事業の実施 どの市町村でも実践できる小中一貫教育の標準的な取組を構築するため、モデル地区において、課題の洗い出しと対応策の整理を行う。</p> <p>ア モデル地区 県内8地区</p> <p>イ 取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・目指す児童生徒像、重点目標の共有</li><li>・9年間を見通したカリキュラム編成・実施</li><li>・教員の合同研修の実施</li><li>・児童生徒の交流（合同授業、行事等）の実施等</li></ul> <p>(2) 小中一貫教育推進会議の開催 モデル地区における取組を支援するため、推進モデル事業の実施等に関する協議を行う推進会議を開催する。</p> <p>ア 委員</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・モデル地区の各学校代表</li><li>・モデル地区の教育委員会指導主事</li></ul> <p>(3) 小中一貫教育の県内への普及</p> <p>ア 小中一貫教育推進ガイドの作成 小中一貫教育の標準的な取組や円滑に導入する際の手法等を盛り込んだ「小中一貫教育推進ガイド」を作成・配布する。</p> <p>イ 小中一貫教育スタートアップセミナーの開催 市町村教育委員会や小中学校長を対象に、「小中一貫教育推進ガイド」の周知や、モデル地区における取組事例の紹介等を行うセミナーを開催する。</p>

## 3 平成25年度予算額

9,076千円

# 学習状況調査実施事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当  
内線 6748

## 1 趣 旨

本県児童生徒の各教科における学習の課題を把握するとともに、学習に対する興味・関心などの状況を調べ、学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
学習状況調査実施事業	(1) 平成25年度学習状況調査の実施 ア 調査問題 県独自に作成した調査問題 イ 調査内容 ・各教科のペーパーテスト調査 ・学習に対する意識等を調べる質問紙調査 ウ 対象学年・教科 ・小学校第5学年：国語、社会、算数、理科 ・中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語 エ 調査対象者 対象学年の全児童生徒 オ 実施時期 平成25年4月下旬  (2) 学習状況調査の分析・報告 ア 市町村、学校ごとに設問別・内容別・評価の観点別に集計 イ 調査結果の公表 ウ 報告書の作成  (3) 平成26年度学習状況調査の問題作成  (4) 学習状況調査検討委員会の開催 小・中学校各学年における全県一斉学力テストに関する検討を行う。 ア 委員 有識者、市町村教育委員会教育長、小・中学校長、PTA関係者 等

## 3 平成25年度予算額

35,687千円



## 若手教員の授業力を高める「学びの道場」事業

担当 義務教育指導課 教育指導担当

内線 6778

### 1 趣 旨

「優れた授業」のモデルを作成し、公開授業や研修により普及させることで、ベテラン教員の大量退職に伴い急増する若手教員の授業力向上を図る。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
若手教員の授業力を高める「学びの道場」事業	<p>(1) 「優れた授業」モデルの作成            優秀な教員として表彰を受けた「はつらつ先生」等と県が協力して、「優れた授業」モデルを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画               <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校（国語、算数、理科）、中学校（国語、数学、理科）</li> </ul> </li> <li>平成26年度                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校（社会、外国語活動）、中学校（社会、外国語）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 「優れた授業」モデルを活用した公開授業・研究協議会の実施            採用5年目程度までの若手教員を対象に、「優れた授業」モデルを活用した公開授業・研究協議会を実施する。</p> <p>(3) 公開授業の映像の活用            「優れた授業」モデルを活用した公開授業の映像を学校向けにインターネットで公開し、各学校における授業研究等で活用する。</p>

3 平成25年度予算額 5,121千円

## 生徒の心に火をつける！ 高校生キャリアアップ&学力アップ推進プロジェクト

担当 高校教育指導課 学力向上推進担当  
内線 7391

### 1 趣 旨

進学や就職など生徒の進路が多様である、いわゆる県立高校の中堅校を対象に、生徒の学習目標や目的意識を明確化させることにより、キャリア意識の向上と学力向上を図る。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
生徒の心に火をつける！高校生キャリアアップ&学力アップ推進プロジェクト	<p>(1) 「生徒の心に火をつける」支援プログラム</p> <p>ア 生徒向け取組：「キャリアアップ・学力アップ教室」の実施 指定校10校の生徒200人を対象に、世界や日本で活躍する講師によるキャリアアップ講座や進学補習講座、社会人による座談会などを実施する。 ・年4日間実施</p> <p>イ 教員向け取組：組織力アップ連絡会の開催 指定校の教員を中心に、連絡協議会（年3回）や合同研修会（年2回）を開催し、学校の中核教員の指導力の向上、指定校間のネットワークづくりを行う。</p> <p>(2) 指定校における「キャリアアップ・学力アップ推進」の取組 指定校において、キャリア意識向上や学力向上のための取組を企画し実施する。</p> <p>ア 取組内容例 ・大学・企業への進路ツアー ・進学補習 等</p>

3 平成25年度予算額 7,290千円

# 未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト

担当 高校教育指導課 学力向上推進担当

内線 6771

## 1 趣 旨

未来を創造し主体的に社会に貢献するリーダーとなる人材を育成するため、生徒の意識啓発やリーダーとしての素養を磨く取組を推進する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト	<p>(1) 先進研究施設等の訪問セミナー            県立高校の指定校10校の1・2年生を対象に、先進研究施設や被災地等への訪問セミナーを実施し、専門的見地や社会貢献の視点から、リーダーとして、よりよい社会、日本の発展に寄与するための意識啓発を行う。</p> <p>(2) 未来を創造するリーダー育成のための教師塾            指定校の教員による連絡協議会を定例的に実施し、リーダー育成に向けた指導体制・指導方法についての情報交換や、ノウハウの共有を行う。</p> <p>(3) 指定校における取組            指定校において、先進校視察やリーダーとしての意識を啓発するための講演会、指定校間で共有した情報等を活用し、リーダー育成に向けた組織的な進路指導を推進する。</p>

3 平成25年度予算額 2,980千円

# 世界を目指す「志」育成事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当

内線 7391

## 1 趣 旨

若者の内向き化、安全志向の風潮がある中、世界にチャレンジしようとする若者が減少しているため、日本の殻に閉じこもらない世界を視野に入れた高い「志」を育成する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
世界を目指す「志」育成事業	<p>(1) 埼玉版 白熱教室 著名人による世界的な視野を広げるための講演と討論を実施するなど、世界に通用する思考に触れさせる。</p> <p>(2) 高校生の海外派遣 学校単位で、海外における大学の講義へ参加し、国際的な視野をはぐくむ。また、県立高校生40名をハーバード大学やマサチューセッツ工科大学に短期間派遣し、世界を目指す「志」を育成する。</p> <p>(3) 教員の海外派遣 PISA型学力トップの中国・上海、ICTや言語教育に力を入れているマレーシア、職業教育を推進するベトナムに教員6名を派遣し、カリキュラム、教科の指導方法、学習教材の作成方法、授業力向上のための研修方法を学ぶ。</p> <p>(4) 英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善事業 県立高校の拠点校2校において、英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組を実施する。</p> <p>(5) グローバル人材育成の基盤形成事業 県立高校5校に留学経験等を高校生に語る「グローバル語り部」を派遣し、留学意識の醸成を図る。</p>

## 3 平成25年度予算額

36,002千円

## 多言語コミュニケーション能力強化事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当

内線 7391

### 1 趣 旨

非英語圏への留学やアジア諸国との交流等が増加していることから、英語以外の外国語教育を充実させ、語学の多様性を通して21世紀の世界で活躍できるグローバル人材の育成を図る。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
多言語コミュニケーション能力強化事業	<p>(1) 非英語圏の国との交流事業 多言語教育を推進するために埼玉県の子供たちとの交流や、アジア新興国の言語や文化に触れる講演会等を実施する。</p> <p>(2) 外国語大学等との連携事業 海外からの留学生（大学生・大学院生）を中国語、フランス語など、英語以外の科目を設置する県立高校18校に授業補助員、国際交流アシスタントとして派遣する。</p>

### 3 平成25年度予算額

23,257千円

## 女子高校生の働き続ける意欲育成推進事業

担当 高校教育指導課 体験活動・キャリア教育推進担当  
内線 6772

### 1 趣 旨

県公立高校の女子生徒の就職内定状況が厳しい中、経済団体等と連携した就職指導、キャリア教育を実施することにより、女子高校生の働き続ける意欲を育成するとともに、女子高校生の就職内定率の向上を図る。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
女子高校生の働き続ける意欲育成推進事業	<p>(1) 地域企業の女性経営者等による講演会・キャリア意識向上講演会の実施 生徒に早期から地域企業に目を向けさせる意識や働き続ける意欲を育てるため、地域企業の経営者等による講演会を実施する。 ・県内10地域で年3回実施</p> <p>(2) 女性のキャリア形成に向けて働き続ける意欲を育てる講演会の実施 女性の働き続ける意識や男性の共働きに関する意識の啓発を促すため、企業や行政機関等の最前線で活躍する女性を迎え、講演会を行う。 ・年1回実施</p> <p>(3) 就職内定者へのフォローアップ講習会の実施 就職内定者を対象に、新入社員として求められることやキャリアプランニングに関する講習会を行うことで、早期離職を防ぎ、労働力として社会へつなげる。 ・年1回実施</p> <p>(4) 女性が働きやすい職場づくりに取り組む企業のリサーチ及びマッチング ウーマノミクス課が認定する「多様な働き方認定企業」などの女性が活躍する企業の求人情報等をリサーチして各高等学校へ提供し、マッチングを進める。</p>

3 平成25年度予算額 1,500千円

## 特別支援教育体制推進事業

担当 特別支援教育課 発達障害支援担当  
内線 6889

### 1 趣 旨

小中学校の通常の学級や高校に在籍している、発達障害などの特別な教育的支援を必要とする児童生徒などに対する支援体制を整備する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
特別支援教育体制推進事業	<p>(1) 小中学校における支援体制の整備 特別支援学級等担任指導員6人を配置し、特別支援学級担任を巡回指導することにより、専門性の向上を図る。 特別支援学級担任を核として、小中学校の通常の学級に在籍する発達障害などのある児童生徒への支援体制を整備する。</p> <p>(2) 高校における支援体制の整備 臨床心理士等の専門家による巡回支援を実施し、個別の指導計画の作成や教員の理解推進など組織的な支援体制を整備する。</p> <p>(3) 特別支援学校のセンター的機能の充実 特別支援教育コーディネーター連携会議により、小中学校・高校と特別支援学校の連携を強化し、センター的機能の充実を図る。</p> <p>(4) 特別支援教育体制の基盤整備 教員の指導力、専門性の向上を目的とした研修会を実施し、全県の特別支援教育体制の基盤整備を図る。</p> <p>(5) 就学支援の充実 市町村就学支援担当者研修会を実施し、担当者の専門性の向上を図る。</p>

### 3 平成25年度予算額

19,564千円

# 特別支援学校就労支援総合推進事業

担当 特別支援教育課 教育指導担当  
内線 6888

## 1 趣 旨

障害のある生徒の社会参加と自立を実現するため、特別支援学校高等部生徒の就労支援を総合的に推進する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
特別支援学校 就労支援総合 推進事業	(1) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進 就労状況の変化に対応し、企業のニーズを踏まえた職業教育を推進する。 ア 3D（3日間）意識向上民間研修の実施 イ 就職支援アドバイザーの配置 ウ 卒業生による講演会の開催  (2) 就労可能な企業の情報の収集 関係機関との連携により、生徒の実習及び就労可能な企業の情報を収集する。また、就労先企業への定着支援を行う。 ア ハローワーク等との共同職場開拓 イ 定着支援と企業情報の収集  (3) 企業に向けての理解啓発 企業向けの学校公開を実施し、企業の理解啓発を図る。

3 平成25年度予算額 4,440千円



# いじめ・不登校対策相談事業

担当 生徒指導課 総務・登校支援・心の教育担当  
内線 6745

## 1 趣 旨

深刻ないじめや不登校などに対応するため、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーを全ての公立中学校と一部の県立高等学校に配置するなど、教育相談体制の充実を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
いじめ・不登校対策相談事業	<p>(1) スクールカウンセラー等配置及び派遣 いじめ問題に早期に対応できるように、臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員する。</p> <p>ア スクールカウンセラー配置（配置日数の増加） 配置日数 10,530日（H24年度 8,630日 約22%増） ・さいたま市を除く全公立中学校 ・高等学校 25校 ・教育事務所等 6所</p> <p>イ スクールソーシャルワーカー配置（増員） 福祉等の知識や経験のあるスクールソーシャルワーカーを増員し県内の幅広い地域で対応できるようにした。 ・市町村教育センター等 40市町程度（H24年度 29市町）</p> <p>ウ 高校相談員配置 高等学校 7校 10人</p> <p>エ 精神科医の配置 総合教育センター 1人</p> <p>オ スチューデントサポーター派遣事業 中学校等 大学生・大学院生 160人</p> <p>(2) いじめメール相談 いじめ相談フォームを設置し、利便性の向上（新規）</p> <p>(3) 中学校配置相談員助成 ア 中学校配置相談員助成事業 中学校相談員を配置する市町村に対して助成金を交付する。 （さいたま市を除く） イ 相談員研修事業 各市町村が配置している相談員に対して研修を実施し、資質向上を図る。</p>

3 平成25年度予算額 724,051千円

# いじめ・非行防止学校支援推進事業

担当 生徒指導課 非行・中退防止担当  
内線 6754

## 1 趣 旨

いじめによる深刻な暴力事案が発生していることから、各教育事務所に校長OBを配置し、いじめ・非行問題の未然防止のためのネットワークの形成や、問題解決のための支援チームを編成して、生徒、学校への支援を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
いじめ・非行防止学校支援推進事業	<p>(1) いじめ・非行防止支援員の配置 各教育事務所に校長OBによる支援員を配置し、いじめ・非行防止ネットワーク、いじめ・非行対応支援チームのコーディネート、生徒指導全般に係る指導・助言を実施する。 ・各教育事務所に2人ずつ 計8人</p> <p>(2) いじめ・非行防止ネットワークの形成 各教育事務所ごとに、いじめ・非行防止ネットワーク構成員（教員、警察、保護司、PTA等）による連絡協議会を開催し、連絡協議の内容を各学校へ情報発信して、いじめ・非行問題の未然防止、早期発見を図る。</p> <p>(3) いじめ・非行対応支援チームによる支援 困難な事案が発生した際に、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどによる支援チームを編成して、生徒、教員への支援を実施し、チーム構成員の専門性を生かして、いじめ・非行問題の早期解決を図る。</p>

## 3 平成25年度予算額

15,938千円

# インターネットの危険性から子供を守る総合推進事業

担当 生徒指導課 生徒指導担当  
内線 6908

## 1 趣 旨

インターネットの危険性から子供を守る学校の取組を支援するとともに、保護者啓発の充実を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
インターネットの危険性から子供を守る総合推進事業	<p>(1) 学校非公式サイト等のネット監視の実施 ネット監視の実施により、インターネット上の現状を把握し、学校の取組を支援する。</p> <p>(2) 保護者啓発講演会等の実施 学校や保護者を対象とした講演会を実施するなど保護者啓発の充実を図る。</p> <p>(3) サイト運営会社等との連携 サイト運営会社や関係機関とネット問題連絡協議会を開催し、インターネット上の現状などについて情報交換を行い、市町村教育委員会や学校へ情報発信を行う。</p>

3 平成25年度予算額 9,980千円

## 公立学校教職員人材確保事業

担当 教職員採用課 採用試験担当  
内線 6795

### 1 趣 旨

教員の大量退職、大量採用が続く中、学校教育の質の維持向上を図るため、優秀な教員を採用する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
公立学校教職員人材確保事業	<p>(1) 教員採用説明会の実施 教員募集のための県外説明会を西日本地域(大阪及び福岡予定)において開催する。</p> <p>(2) 後期教員採用選考試験の実施 小学校教員について、従来の採用選考試験に加え、後期の採用選考試験を実施する。 ア 実施時期 平成25年11月・12月 イ 実施会場 第1次試験 福岡、仙台 (予定) 第2次試験 さいたま市</p> <p>(3) インターネットによる志願受付 志願手続きの利便性向上を図るため、インターネットによる出願環境を整備する。</p>

3 平成25年度予算額 10,694千円

# 県立高校再編整備計画推進事業

担当 県立学校人事課 高校改革推進担当

内線 6902

## 1 趣 旨

県立高校の再編整備計画に基づき、新たに設置する高校等について、教育活動に必要な施設・設備の整備を行う。

## 2 事業内容

(1) 後期再編整備計画により平成25年度に開校する高校の整備のため、以下の改修等を行う。

新校名	対象校	主な内容
幸手桜高校	幸手商業高校 幸手高校	特別教室棟内部改修工事 教材教具等の整備
ふじみ野高校	大井高校 福岡高校	グラウンド改修工事 教材教具等の整備
豊岡高校	豊岡高校 入間高校	校舎（2号館）内部改修工事 教材教具等の整備
本庄高校	本庄高校 本庄北高校	特別教室棟内部改修工事 教材教具等の整備
吉川美南高校	吉川高校 草加高校（定）	特別教室棟内部改修工事 教材教具等の整備

(2) 後期再編整備計画により平成24年度末で閉校となる玉川工業高校において不用となった物品の処分を行う。

## 3 平成25年度予算額

920,508千円

## 実践的防災教育総合支援事業

担当 保健体育課 学校安全担当  
内線 6964

### 1 趣 旨

児童生徒等が自ら命を守りぬくための「主体的に行動する態度」を育成するため、科学技術を活用した防災教育の推進等により、学校の防災教育・防災管理の充実を図る。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
実践的防災教育総合支援事業	<p>(1) 防災に関する指導方法等の開発・普及            研究校において、緊急地震速報を利用した避難訓練等により、実践的な避難行動を身に付けた児童生徒を育成する指導方法の研究を行い、全県への普及を図る。            ・研究校 県内4地区の小中学校各1校（計8校）</p> <p>(2) 学校防災アドバイザーの活用            防災に関して専門的知識を有した消防署員、気象台関係者等を学校防災アドバイザーとして県が委嘱し、研究校における学校防災マニュアルや避難訓練等に対して指導・助言を行う。</p> <p>(3) 高校生災害ボランティア人材の育成            防災関係機関や市民ボランティア団体を活用し、避難所設営等の実践的な体験研修を実施することで、災害時に共助の担い手として率先して行動できる生徒の育成を図る。            ・対象 高校生等150人</p>

3 平成25年度予算額 3,963千円

# 埼玉県高等学校等奨学金事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当  
内線 6652

## 1 趣 旨

経済的理由により修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸与することにより、修学を支援するとともに、有為な人材の育成に資する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
埼玉県高等学校等奨学金事業	(1) 奨学金制度の概要 ア 奨学金貸与の対象者 修学意欲があり、かつ、経済的理由により修学が困難な生徒 イ 貸与額 ・ 国公立 入学一時金 100,000円以内 月額奨学金 25,000円以内 ・ 私立 入学一時金 250,000円以内 月額奨学金 40,000円以内  (2) 貸与枠 ア 平成25年度在校生向け ・ 国公立 2,850人 ・ 私立 2,850人 計 5,700人 イ 平成26年度入学生向け ・ 国公立 900人 ・ 私立 900人 計 1,800人

3 平成25年度予算額 711,720千円

# 学校応援団推進事業

担当 家庭地域連携課 総務・企画・連携推進担当  
内線 6976

## 1 趣 旨

学校の教育活動の活性化と家庭・地域の教育力の向上を図るため、地域住民・保護者がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校応援団」の組織化を推進し、学校・家庭・地域が一体となった子供の育成を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
学校応援団 推進事業	(1) 小中学校における学校応援団づくりの支援 事業実施市町村への補助金の交付、会議等による情報提供  (2) 推進委員会の設置 「学校応援団」の組織化及び活動の活性化に向けた普及・ 啓発策の検討を行う推進委員会を設置

3 平成25年度予算額 17,169千円



# 放課後子ども教室推進事業

担当 家庭地域連携課 総務・企画・連携推進担当  
内線 6977

## 1 趣 旨

子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子供たちの安心・安全な活動拠点を確保する。

市町村が放課後や週末などに、小学校の余裕教室等を活用した子供の活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組むための支援を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
放課後子ども教室推進事業	(1) 市町村が実施する「放課後子ども教室」への支援 市町村への補助金の交付、会議等による情報提供 ・ 41市町実施  (2) 推進委員会の設置 実施方針の検討、指導者研修の企画等を行う推進委員会を設置  (3) 指導者研修の実施 コーディネーターや安全管理員等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施 ・ 年4回実施

3 平成25年度予算額 129,080千円

# 家庭教育支援推進事業

担当 家庭地域連携課 幼児教育・家庭教育支援担当  
内線 6972

## 1 趣 旨

家庭の教育力の向上を図るため、「親の学習」を推進するとともに、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
家庭教育支援推進事業	(1) 「埼玉県家庭教育アドバイザー」の養成 「埼玉県家庭教育アドバイザー」養成研修の実施 ・新規養成研修 60人 ・既存指導者のフォローアップ研修 ・「親の学習」プログラム集活用実践研修会  (2) 「埼玉県家庭教育アドバイザー」の派遣 市町村等が実施する「親の学習」や子育て講座等に指導者を派遣 ・年500回派遣

3 平成25年度予算額 3,050千円

# 元気な地域を創造する子ども大学推進事業

担当 生涯学習文化財課 生涯学習推進担当  
内線 6920

## 1 趣 旨

子供の知的好奇心を刺激する講義や体験を提供することにより、子供の学ぶ力や生きる力をはぐくむ。

また、大学やNPO、企業、市町村などが連携して、地域で地域の子供を育てる仕組みづくりを目指す。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
元気な地域を創造する子ども大学推進事業	(1) 各子ども大学実行委員会で実施 ア 開校事業 大学のキャンパス等で、大学教授や地域の専門家が子供の知的好奇心を刺激する講義などを行う。 ・対象 小学校4～6年生（1校40～100人） ・会場 東・西・南・北各地区で計23校を開校予定 ・内容 「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」  (2) 子ども大学が連携して実施 ア 交流・連携事業 複数の子ども大学が連携し、ミニ社会体験活動や発表などを行う。 ・対象 子ども大学の学生と一般参加の子供 ・会場 大学、地域の施設など ・内容 社会体験活動、埼玉検定クイズ大会、交流・情報交換等

3 平成25年度予算額 5,510千円

# 埼玉サイクリングフェスティバル事業

担当 スポーツ振興課 生涯スポーツ担当  
内線 6952

## 1 趣 旨

自転車利用ムーブメントの拡大と、本県の魅力を広くアピールするため、埼玉サイクリングフェスティバルを開催する。

また、自転車の安全な利用を呼び掛けるための安全教育イベント等も併せて実施する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
埼玉サイクリングフェスティバル事業	(1) 開催時期 平成25年10月  (2) 主催 埼玉サイクリングフェスティバル実行委員会  (3) 場所 熊谷スポーツ文化公園周辺、利根川自転車道及び一般道  (4) コース 熊谷スポーツ文化公園をスタート及びゴールとし、利根川自転車道や一般道を走行して、近隣の観光スポットを巡りながらサイクリングを楽しめるコースとする。 また、参加者が経験や体力に応じて選択できるよう、70km程度のコースだけでなく、距離を短縮した30km程度のコースや初心者向けコースも併せて設定する。  (5) 予定参加者 1,500人

3 平成25年度予算額 24,897千円

## 教育局 条例 定数 一 覧

(単位:人)

区 分	平成25年度	平成24年度	増 減	主な増減理由
事 務 局	739	741	△ 2	事務事業の執行体制の見直しに伴う減
小 学 校	20,493	20,489	4	国の教職員定数の改善に伴う増
中 学 校	12,083	12,081	2	国の教職員定数の改善に伴う増
高 等 学 校	9,634	9,788	△ 154	生徒数の変動に伴う減
特 別 支 援 学 校	4,146	3,987	159	児童生徒数の変動に伴う増
計	47,095	47,086	9	